

株主・投資家の皆さまへ
第62期 期末報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日



特集

信頼から生まれる技術力、フクシマグループは
お客様とともに最高の環境を創造します

ハード・ソフトを 駆使した 省エネ技術力で 社会に貢献



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第62期（平成25年3月期）の事業活動の概況をご報告申し上げます。株主の皆様には、引き続きご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

——第62期を振り返って、いかがでしたか。

当連結会計年度では、東日本大震災の復興需要などを背景に景気が緩やかな回復基調を見せ、年度後半には、政権交代による金融緩和策への期待感から円安、株高が進み、さらなる景気回復への期待感も高まってきました。そのような中、当企業集団は売上高が好調に推移し、過去最高益を達成することができました。

特に冷凍冷蔵ショーケース販売においては、ESCO事業が着実に伸び、業界トップクラスの省エネ対応ショーケースや省エネ制御システムの売上が増加しました。また、エネルギーマネジメントとしての新システム（Bems-you）を開発し、食品スーパー向けの電力削減に取り組むとともに、業界初となるDCインバーター圧縮機を内蔵したショーケースが「平成24年度地球温暖化防止活動 環境大臣賞」並びに「平成24年度 資源エネルギー庁長官賞」をW受賞するなど、当社の省エネ技術が高く評価されました。

また、高齢化社会を背景に、老健施設や宅配給食、サービス付き高齢者向け住宅や病院給食向けの販売を強化したことから、汎用業務用冷蔵庫や製氷機、プラストチラーなどの売上が着実に伸びました。

代表取締役社長

福島 裕

企業理念

環境・安全・安心を
テーマに「幸せ創造企業」
を目指します。

さらに、エンジニアリング事業の強化により、プレハブ式大型冷凍冷蔵庫の売上も伸び、トンネルフリーザー事業とのシナジーにより、設備工事の売上が増加しました。

——次期の見通しについて教えてください。

引き続き景気回復の期待感が高まっていくと思われませんが、電気代の値上げや消費増税など当社顧客に与える影響は大きく、予断を許さない状況が続くと思われまます。そのような状況のもと、ショーケース事業においては、一昨年より好調に推移してきた省エネ機器への入替需要は落ち着きを見せると予想しておりますが、Bems-youなどの省エネシステムの販売を拡大し、お客様の電力削減に貢献していきたいと考えております。

また、病院や老健施設、給食センターなども引き続き需要が見込まれますので、さらなる販路拡大と共に、機器だけでなくメニュー提案や厨房のエネルギー管理まで、トータルな提案を行うことによって、お客様のニーズにお応えできるよう注力してまいります。

さらに、エンジニアリング事業では、4月に設立したFSP株式会社のパネル事業やトンネルフリーザー事業との、さらなるシナジーを最大限に発揮してまいります。

今後も「質の高い事業」を目指し、環境・安全・安心に配慮した独自の食品安心技術とトータルソリューション力で、安全・安心・おいしい・健康な食生活を生活者に提供し、企業理念に掲げる「幸せ創造企業」の実現に向けて取り組んでまいります。

第1項 生活者の幸せ

わたしたちは、環境・安全・安心をテーマに、お客様と協働し、生活者の「幸せ」に寄与することを基本使命とします。

第2項 お客様の幸せ

わたしたちは、独自の技術とシステムにより、フードビジネスに新しい価値を創造し、お客様の「幸せ」に貢献することを基本使命とします。

第3項 社員の幸せ

わたしたちは、自己責任能力を高め、自身と社業の成長を通じて、物心両面の「幸せ」を追求することを基本使命とします。

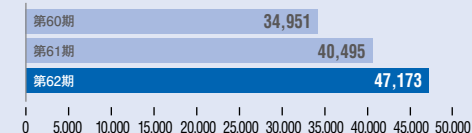
第4項 株主・お取引先の幸せ

わたしたちは、将来への目標を共有し、常に業績向上に努め株主やお取引先に「幸せ」を提供することを基本使命とします。

第62期連結決算（単位：百万円）

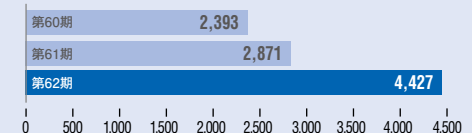
売上高

47,173 前年同期比
16.5%増



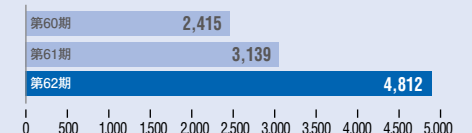
営業利益

4,427 前年同期比
54.2%増



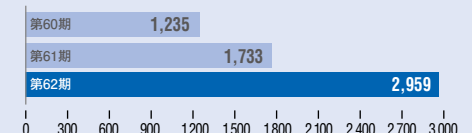
経常利益

4,812 前年同期比
53.3%増



当期純利益

2,959 前年同期比
70.7%増



信頼から生まれる技術力、 フクシマグループはお客様とともに 最高の環境を創造します

福島工業は4月、プレハブ式冷凍冷蔵庫のパネル製造子会社、FSP[®]を設立しました。グループ会社であるトンネルフリーザーメーカーの高橋工業、そして当社の3社で強みを生かしながら連携を図り、より高い次元でお客様のご要望にお応えしてまいります。
※昭和電工株式会社と共同出資で2013年1月設立(持ち株比率は当社80%、昭和電工20%)。



【大型冷蔵庫設計・施工】
エンジニアリング事業部

事業内容
エンジニアリング事業部では、プレハブ式低温エリアの設計施工、付帯工事設計施工、関連機器のアッセンブリなどの業務を担います。食品工場や物流センター、冷凍冷蔵倉庫といったお客様の声を聞きながら、品質はもちろん衛生や合理化、省エネを考えた最適な設計提案を行い、お客様のパートナーとして協同で作業を進めています。



【トンネルフリーザー[®] 製造販売】
高橋工業

設立 1960年
事業内容 トンネルフリーザー[®](連続急速冷却装置・連続急速凍結装置)その他各種食品製造プラントの設計・製作・販売・施工

製品一例
パネル式スーパージェットタイプ【OSJ TUNNEL FREEZER】(OSJ型トンネルフリーザー)
独自のSJノズルで高速ジェット噴流を吹き付ける「スーパージェット急速凍結システム」で、短時間の冷却・凍結が可能に。従来型のフリーザーに比べて設置スペースも大幅に小さくなりました。

【パネル製造販売】
FSP

設立 2013年
事業内容 プレハブ式冷凍冷蔵庫のパネルおよびその他付属品の製造、開発・販売・保守

製品一例
【プレハブパネル】
スーパーマーケットの冷凍冷蔵庫、物流センター、クリーンルームから今話題の食品工場までカテゴリーの多様化・複雑化にパネルソリューションでお応えしています。

●エンジニアリング事業部長に聞く
お客様のパートナーとして
ニーズに合う最適な環境を提案

エンジニアリング事業部は、ショーケースや冷蔵庫の技術系メンバーが集まり2009年に設立した部署。現在はエネルギーや建築などそれぞれ専門性を持つ10名で構成する技術者集団です。

製品紹介から始まる“モノありき”の提案と違い、私たちの営業はお客様の声を「聞く」ことがすべての始まり。お客様が考える将来のビジョンや課題、要望に耳を傾け、一緒になって最善の解決策を出したり、最適な環境を作り上げていきます。100人お客様がいれば100通りの提案があり、2つとして同じ提案はありません。こうした提案は福島工業のこれまでの実績があるからこそできるものであり、ノウハウや知識を活用してオーダーメイドに対応しています。また、社内の他部署と連携して「チームFukushima」として多彩な提案をしており、言わば社内外のトータルコーディネーターとしての役割を果たしています。その結果、これまでにないさまざまなお客様との取引が拡大しています。

当事業部は設立して間もなく、人間で言えばまだまだ子ども。勉強することは山ほどありますが、将来的には、エンジニアリング事業部発の製品を開発するのが夢ですね。特に当社・高橋工業・FSPの3社が連携すれば相乗効果によって伸びしろがぐんと広がるため、世界も視野に入れて戦略的に連携し、スピードを持って今後の成長につなげていきます。



エンジニアリング事業部
部長
鳴田 友和

事例紹介【イトアンド株式会社様】

生活者に最高の食品をお届けするために、 フクシマグループは様々な角度からお客様をサポートします

会社概要

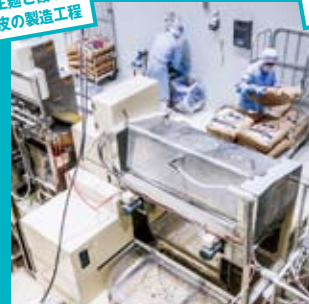
イトアンド株式会社
 関東工場「幸せ発信基地」
 〒374-0113 群馬県邑楽郡板倉町泉野
 2丁目40番地-5
 TEL. 03-6402-3961(東京オフィス代表)
 ●生産品目 外食用餃子(具・皮)、生麺、冷凍食品餃子
 ●製造能力 662t/月(外食向け372t、冷凍食品290t)
 ●最大製造能力 1724t/月(外食向け744t、冷凍食品980t)
<http://www.eat-and.jp/>



製造工程をトータルコーディネート

工場に沿って各室にさまざまな設備が設置されている工場内。
 福島工業は、冷蔵・冷凍設備導入だけでなく、
 お客様と工場設備メーカーとの間に立ち、
 工場立ち上げをトータルに支援しました。

生麺と餃子の皮の製造工程



肉のミンチ工程



冷凍工程



パッケージ・箱詰め工程



トンネルフリーザー®
 あらゆる業界の凍結・冷却で活躍!

ネットコンベア上下に配置された、高橋工業オリジナルのSJノズルで高速ジェット噴流を吹き付ける「スーパージェット急速凍結システム」で、短時間の冷却・凍結が可能に。従来品に比べ、設置スペースも大幅に縮小するなど、商品の品質を保ちながら生産性向上に貢献しています。



他にもフクシマグループの製品を導入

▶各工程のバックヤードに、
 冷蔵庫、冷凍庫をそれぞれ
 合計9室・3室設置



◀テストキッチンには、
 台下冷蔵庫を導入



▶品質管理室の検査設備は、
 福島工業FMS事業部が
 導入をサポート

お客様の声

二人三脚で問題解決できる信頼感

餃子や生麺の鮮度を保つためには、適切な温度管理が非常に重要。イトアンドの関西工場ではフクシマグループの設備を4年ほど使用していますが、私たちが望む技術と効率性を備えており、「次の工場もフクシマグループ製品で」と思っていました。

だから2012年10月に稼動したこの関東工場でも、テストキッチンの台下冷蔵庫や各工程の冷凍庫・冷蔵庫、そして高橋工業のトンネルフリーザーを導入しました。同じ設備でも、環境が

変われば予期せぬ問題が起きるもの。フクシマグループは、緊急時でも、素早く親身に対応してくれます。そうやって二人三脚で問題解決できる信頼感。それがこの「幸せ発信基地」の安全・安心なものづくりを支えてくれています。グループで情報を共有し、ワンストップでサポートしてくれるのも大きいですね。

これからもお互いに意見を交換しながら、冷凍技術のさらなる進化のために協力していければと思います。



イトアンド株式会社
 商品本部 生産部
 ゼネラルマネージャー
山口 耕太郎氏

特集
 信頼から生まれる技術力、
 フクシマグループは
 お客様とともに
 最高の環境を創造します

その他のエンジニアリング事業部 施工事例

大型冷凍倉庫

さまざまな冷凍食品を保管する上で必要な冷凍倉庫。規模、内容、ロケーションに合わせた最適な設計施工を実施します。



閉ざされた空間の冷蔵・冷凍庫からオープンショーケースまで、岡山工場や滋賀工場のノウハウ・技術が、私たちの最大の武器。このベースを生かした幅広い提案や、3社連携によるライン全体のトータル提案を行っています。

エンジニアリング事業部
 大阪営業課 課長
山下 優一



温調庫

冷凍食品を成型する際の型崩れを防止するために、必要な工程で調理された食品を芯温が-15℃になるまで凍結。その後凍結点付近まで半解凍し、保冷する装置です。



恒温恒湿庫

発酵や熟成を目的とした特殊用途設備、環境試験室のような高度な管理施設。目的、用途に合わせた環境をご提供します。



エネルギーマネジメント

Bems-youを導入することにより施設内の電力使用量を“見える化”し、現状分析から省エネ改善に活用。デマンドコントローラによる冷設・照明・空調のデマンドカットも自動制御が可能です。



エンジニアリング事業部
 特販担当 課長
大霜 武史

スーパーのショーケース向けに開発した「Bems-you」を、今後は低温倉庫や食品加工センターにも横展開していく予定です。さらには、これまでに実績のない小型化も構想中。厨房仕様での展開を目指します。

HACCP EXTENDER



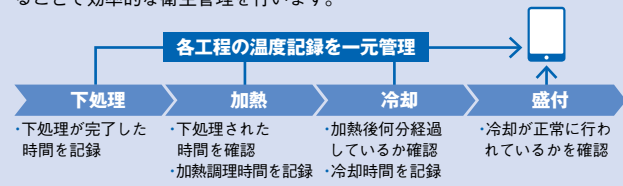
全調理工程の管理を行う タブレット用ソフトを開発!



エネルギーマネジメントや作業管理などを行うトータル管理システム「HACCP master V3」に、新たに全工程で使用できる作業管理用タブレット端末「HACCP EXTENDER」を開発。親機のHACCPマスターと子機の「HACCP EXTENDER」が無線ネットワークでリアルタイムに通信でき、どの調理工程や管理項目についても対応可能です。

特長(例)

食材の調理工程ごとに温度を管理し、厨房機器を一元管理します。また、調理作業のモニタリングを行い、各工程に対し必要に応じて作業を記録することで効率的な衛生管理を行います。



低温乾燥庫 QLD-080DM



食品の乾燥加工に 最適!



「低温乾燥庫 QLD-080DM」は鮮魚などの食材を低温に保ち、庫内の食材を均一に早く乾燥加工を行う専用の加工機として、スーパーマーケットや水産加工会社などに導入されています。冷蔵状態で庫内の食材を乾燥させるため、菌の増殖を抑制し、均一に乾燥させます。

3つの特長

①低温で素早く乾燥

鮮魚などの食材を低温に保ち、庫内の食材を均一に早く乾燥加工を行う専用の加工機です。

②菌の増殖を抑制

冷蔵状態で庫内の食材を乾燥させるため、菌の増殖を抑制し均一に乾燥させます。

③高い脱臭効果

光触媒脱臭装置が標準で付いているので、臭い・菌などの分解を行い、脱臭効果があります。高い脱臭効果にも関わらず、食材への影響はありません。

セミナー

介護食実践セミナーを開催

栄養士や言語聴覚士、看護師などを対象に開催された「介護食実践セミナー」。摂食・嚥下のメカニズムに関する講演と、施設や病院向け嚥下食の調理・実演などを行いました。



- 日程: 2012年12月
- 会場: 福島工業 東日本支社

※嚥下食・嚥下(飲み込み)障害を持つ方が飲み下しやすいように工夫した食事。適度な粘度があり、変形しながら滑らかに喉を通過しやすい。

▶嚥下食の八宝菜



セミナー

フクシマ流通セミナー 2012 東京・大阪で開催

スーパーマーケットのお客様、特に経営層の方々および商品部、販売部などの売り場作り、商品・販売担当の方々を対象に、流通業界における急激な変化への対応や多くの課題解決に対する「フクシマ流通セミナー」を開催しました。

当日は、小売市場やPC(流通加工センター)の活用法など、ビジネスのヒントとなるテーマで講演を行いました。

[基調講演]「その後のシナリオ 2020～小売業を取り巻く環境の変化と対応事例～」
[特別講演]「生鮮の業革ツールとしてのセンターのあり方～PCを制する者がSMを制する～」

- [東京] 日程: 2012年9月27日 会場: 福島工業 東日本支社
- [大阪] 日程: 2012年11月20日 会場: マイドームおおさか



2大展示会で最新機種・最新システムをご紹介

2大展示会で当社の最新機種、最新システムをご紹介! たくさんの方々に当社製品を見に来ていただきました。

2013年スーパーマーケットトレードショー

冷凍機内蔵型ショーケースをインバーター化した、省エネルギー表彰W受賞製品の展示や、省エネルギーに貢献するエネルギーマネジメントシステム『Bems-you』の全貌と、私たちが目指す未来の姿を紹介・提案いたしました。



- 日程: 2月13日～15日
- 会場: 東京ビッグサイト
- 来場者数: 680名

厨房設備機器展 2013

冷却調理の実演や、業務用冷蔵庫の歴史と省エネの進化を紹介。また、私たちの得意とする温度管理システム『HACCPマスター』『Bems-you』の紹介、病院給食などで採用されている再加熱カートを含めたフクシマニュークックシステムを提案するなど、当社製品の歴史や性能をたくさんの方々に知っていただくことができました。



- 日程: 2月19日～22日
- 会場: 東京ビッグサイト
- 来場者数: 2,500名

コーポレートキャラクター Fukuppyが誕生

このたび福島工業は、環境・安全・安心をテーマに「幸せ創造企業」を目指す当社の企業姿勢のイメージアップを図り、コーポレートキャラクター『Fukuppy』が誕生いたしました。

キャラクターを通じて伝えたいこと

- ①いつでもどこでも『食の安全・安心』を提供する企業であること
- ②未来に向かって常に成長し続ける企業であること
- ③次々と新しい技術を創るメーカーであり、全ての人の幸せを生み出す企業であること

●プロフィール

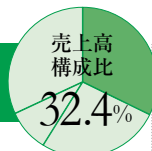
出身地: Fukushima 冷蔵庫
性 格: 好奇心旺盛で食べるのが大好き! 心優しく正義感が強いが、少しおっちょこちょいなところも。自分磨きに余念がなく、いつもピカピカ。



セグメント別売上高 (単位:百万円)

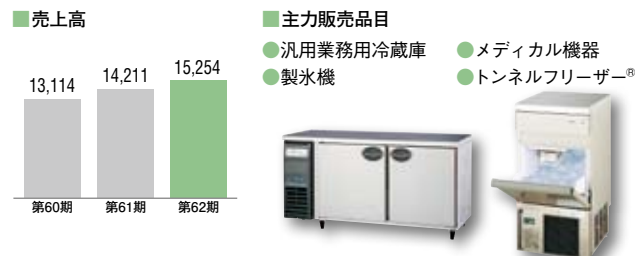
※前年同期比

冷凍冷蔵庫販売部門



外食産業・給食センターの需要増や
高齢者施設への販売強化で7.3%増

外食産業の改装による店舗への設備投資増加や、市町村統合などによる給食センター設備の更新需要増加、老健施設などへの販売強化により、汎用業務用冷蔵庫や製氷機、プラスチックラーの売上が着実に伸びました。また、メディカル機器の売上が伸びました。

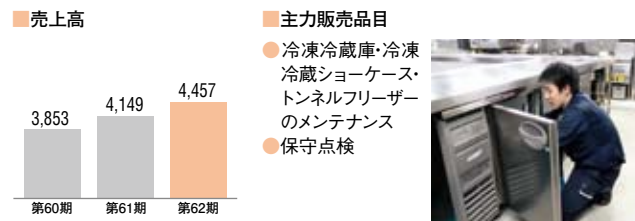


サービス販売部



節電意識の高まりを背景に
メンテナンス需要が増加し7.4%増

サービス販売では、節電意識の高まりを背景にコンデンサー洗浄により冷却能力を回復するメンテナンス需要が増加しました。

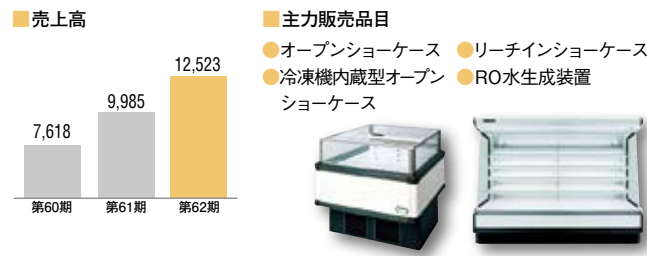


冷凍冷蔵ショーケース販売部門

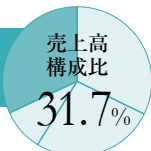


ESCO 事業が着実に伸長
当社技術への評価も高まり25.4%増

節電意識の高い流通業界で、省エネ対応ショーケースなどESCO事業が着実に伸長。また、デマンド値を抑える新システムを開発し、食品スーパーの電力削減に取り組みました。さらに、当社の省エネ技術への評価が高まり、冷凍機内蔵ショーケースの売上が伸びました。

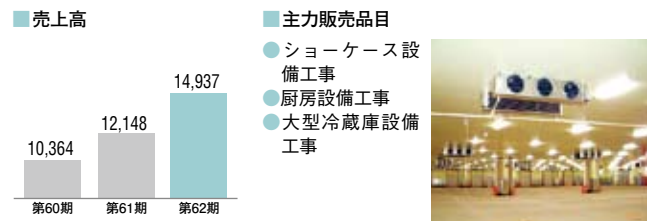


設備工事部門



食品スーパー向けの
設備工事が増加し23%増

食品スーパーのショーケース関連の設備工事が増加。また、エンジニアリング事業強化によりプレハブ式大型冷凍冷蔵庫の売上が伸びました。



連結財務諸表

	当連結会計年度 (平成25年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	29,664,219	25,469,410
固定資産	13,754,234	11,632,810
有形固定資産	7,705,402	7,016,959
無形固定資産	102,806	97,583
投資その他の資産	5,946,025	4,518,266
資産合計	43,418,453	37,102,221
負債の部		
流動負債	16,821,361	14,205,441
固定負債	1,988,915	1,529,308
負債合計	18,810,277	15,734,749
純資産の部		
株主資本	23,699,520	21,026,644
資本金	2,760,192	2,760,192
資本剰余金	2,886,073	2,886,073
利益剰余金	18,404,165	15,731,168
自己株式	△350,910	△350,789
その他の包括利益累計額	734,176	238,031
その他有価証券 評価差額金	873,034	480,138
為替換算調整勘定	△138,858	△242,107
少数株主持分	174,479	102,795
純資産合計	24,608,176	21,367,471
負債純資産合計	43,418,453	37,102,221

	当連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前連結会計年度 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,113,498	1,879,441
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,761,221	△1,695,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123,087	△355,115
現金及び現金同等物に係る換算差額	186,916	△21,388
現金及び現金同等物の増減額	2,416,105	△192,105
現金及び現金同等物の期首残高	11,224,376	11,416,482
現金及び現金同等物の期末残高	13,640,481	11,224,376

	当連結会計年度 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	前連結会計年度 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	47,173,427	40,495,466
売上原価	35,360,729	31,219,598
売上総利益	11,812,698	9,275,867
販売費及び一般管理費	7,385,051	6,404,564
営業利益	4,427,646	2,871,302
営業外収益	443,215	314,180
営業外費用	58,585	45,695
経常利益	4,812,276	3,139,787
特別利益	-	11,912
特別損失	15,000	62,281
税金等調整前当期純利益	4,797,276	3,089,417
法人税、住民税及び事業税	2,035,358	1,330,498
法人税等調整額	△195,765	25,536
少数株主損失	△1,339	△71
当期純利益	2,959,023	1,733,453

当社ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様向けに、詳しい財務関連情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

[URL] <http://www.fukusima.co.jp/ir/>

各キャッシュ・フローの状況

- (営業活動によるキャッシュ・フロー)
主に税金等調整前当期純利益の計上により、営業活動の結果得られた資金は41億1千3百万円となりました。(前年同期比22億3千4百万円増)
- (投資活動によるキャッシュ・フロー)
主に事業用地の取得並びに各工場の生産設備等有形固定資産の取得を行ったことにより、投資活動の結果使用した資金は17億6千1百万円となりました。(前年同期比6千6百万円増)
- (財務活動によるキャッシュ・フロー)
主に金融機関からの借入による運転資金の調達を行ったことに対して社債の償還並びに配当金の支払を行ったことにより、財務活動の結果使用した資金は1億2千3百万円となりました。(前年同期比2億3千2百万円減)

Information

会社概要

商号	福島工業株式会社
本社	〒555-0012 大阪府大阪市西淀川区御幣島3-16-11
設立	昭和26年12月8日
資本金	27億6千万円
従業員数	連結:1,183名 単体:958名(準社員除く)

ネットワーク

支社	東日本(東京)、中部(名古屋)、関西(大阪)、西日本(福岡)
支店	札幌、北東北(青森)、東北(仙台)、信越(新潟)、 関東(さいたま)、横浜、千葉、西関東(立川)、静岡、 北陸(金沢)、京都、阪和(難波)、神戸、岡山、広島、 四国(高松)、西九州(長崎)、南九州(熊本)、沖縄
営業所	旭川、盛岡、気仙沼、秋田、郡山、山形、長野、松本、 宇都宮、高崎、水戸、小田原、相模原、甲府、沼津、 浜松、豊橋、三重、岐阜、高山、富山、福井、滋賀、 北近畿、奈良、和歌山、北大阪、南大阪、西宮、姫路、 鳥取、松江、福山、山口、徳島、松山、高知、北九州、 久留米、大分、佐賀、佐世保、宮崎、鹿児島、石垣
工場	滋賀、岡山
グループ会社	国内:高橋工業株式会社、フクシマトレーディング株式会社、 FSP株式会社 海外:香港、台湾、シンガポール、韓国、上海、マレーシア、 北京合弁工場

役員

代表取締役社長	福島 裕	取締役	水谷 浩三
専務取締役	福島 亮	監査役	竹内 博史
常務取締役	片山 充	監査役	吉田 広務
常務取締役	福島 豪	監査役	手川 明映
取締役	長尾 健二		

株式のご案内

決算日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
配当金受領 株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の確定日は9月30日
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部 大阪証券取引所 市場第一部
公告掲載方法	当社の公告はホームページ http://www.fukusima.co.jp/ir/advertise.html に掲載いたします。
株主名簿管理人および 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が下記へ変更となりました (郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031

[今回の表紙]

「チーム Fukushima」で食の安全と環境を守る グループのシナジーを最大限に発揮し、No.1 技術力で食の安全と環境を守ります。

